

オンライン開催

2024年度 スクールカウンセラーのための勉強会

2021年度から始まったこの勉強会は、今年で4年目を迎えます。コロナ禍のなか、オンラインとなったことにより日本各地から教育現場で臨床をされている方々に毎年度たくさんの方がご参加いただいております。「スクールカウンセラーのための勉強会」となっていますが、実際には教員や教育現場に関わっているさまざまな職種の方にご参加いただき職種をこえて学び合う機会となっています。今年度も、スクールカウンセラーや専門職の方々の自己研鑽の場として、また相互に学び合える場として、ベテランの臨床現場の先生方から実践に役立つお話を聞く会を提供いたします。今年度も、昨年度お迎えした先生方と、また新しい先生方もお迎えして、学びの場を提供いたします。日々、教育現場で起こるさまざまな課題に対し、専門職として仕事を続けるには、学び続ける意欲と安心して支え合える仲間が必要です。ぜひ奮ってご参加ください。

日程 月1回日曜日 年10回開催（前期5回、後期5回）

2024年 5月12日・6月9日・7月14日・8月11日・9月8日（前期5回）

2024年 10月13日・11月10日・12月8日 2025年 1月19日・2月9日（後期5回）

● オンラインによるライブ配信 毎回 AM10:00～12:00

	(すべて日曜日)	担当講師の先生	タイトル
1	2024年5月12日	バーズ亀山静子先生	「UDL（学びのユニバーサルデザイン）」 ースクールカウンセラーだからこそ知っておきたいことー
2	6月9日	杉原保史先生	「カウンセラーの言葉の技術：言い回しの選び方」
3	7月14日	葛西真記子先生	「多様な性を生きる児童生徒を理解し支援する」
4	8月11日	岡留美子先生	「精神科診察室から見る子どもへのケア」
5	9月8日	松本俊彦先生	「思春期の市販薬乱用・依存～自傷と自殺のあいだ」
6	10月13日	戸田有一先生	「いじめ予防実践への支援としてお願いしたいこと」
7	11月10日	植山起佐子先生	(仮題) 「子どもを中心に親子・家族をまるっと支えるための合同面接」
8	12月8日	新井肇先生	「深刻化する教職員のメンタルヘルス支援の方向性と課題」 ～支え合う職場づくりとスクールカウンセラーの役割～
9	2025年1月19日	徳田仁子先生	(仮題) 「思春期のレジリエンスを支えるポイント」
10	2月9日	松本俊彦先生	「もしも『死にたい』と言われたら～自殺リスクと評価と対応」

*原則としてオンデマンド配信は致しませんのでご了承ください

- 対象者 教育現場など子どもに関わる専門職の方 (SC、SSW、教員など)
- 参加費 前期5回 25,000円、後期5回 25,000円
全10回 申し込みの場合 40,000円

*臨床心理士資格更新ポイント申請予定

*振込先は、お申込みの後、メールにてお知らせいたします

お申込み方法

メールフォームに下記の項目を明記ください

申し込み先：下記メールフォームもしくは右のQRコード より

※締切：5月1日(日) 定員50名

<先着順、定員になり次第締め切ります>

申し込みメールフォーム

<https://forms.gle/WpPVvXbwMFgCPA4b6>

メールフォームに下記の項目を明記ください

- 1) 氏名(ふりがな)
- 2) 返信用アドレス(資料添付が可能なもの)
- 3) 携帯電話番号
- 4) 参加希望 ・全10回 ・前期のみ ・後期のみ
- 5) 職種 6) 勤務地または居住地
- 7) お持ちの方は臨床心理士番号
- 8) この勉強会を知ったきっかけ



<申し込みQRコード>

お問い合わせ先
なら思春期・不登校支援研究所
sayurikuri@gmail.com 研修担当栗本まで

前期 担当講師の自己紹介文

1回目 5月12日 バーンズ亀山静子先生

米国ニューヨークにおいて30年以上スクールサイコロジストとして、また、日本でも大学院で心理職を目指す人たちと教員を目指す人たちを伴走してきました。学習や教師とのかかわりは不登校と関係することが調査で明らかになっています。UDLは、発達心理学、神経心理学、学習科学等に基づいた、学習者が自分の学びを舵取りして学びのエキスパートとなるための概念フレームワークです。ひとりひとりの学びを保障するためには、教師が選んだ方法に限定されず、子どもたちが自分に合った学び方で学べる柔軟性を持った授業である必要があります。スクールカウンセラーはその心理学の知識をもって、なぜこのアプローチが有効かを教師に説明し、エンパワーできるので、学ぶことが楽しくなる環境づくりを実現しましょう。

2回目 6月9日 杉原保史先生

私は大学の学生相談の現場で相談を行ってきました。同じ教育領域のカウンセラーとして共有できるものがあればと願っています。今年は、カウンセラーの言葉の技術を取り上げます。同じことを伝えるのにも、表現の仕方はさまざまであり、無限と言ってもいい選択肢があります。カウンセラーが、無限の選択肢の中からなぜその特定の言い回しを選ぶのかということに、カウンセラーのクライアントへの思いがいくらか反映されます。時にはそれが面接の成り行きを大きく左右します。何を言うかではなく、それを具体的にどのような言葉で言うかという問題について、考えてみたいと思います。

3回目 7月14日 葛西真記子先生

ジェンダーやセクシュアリティに関して自分が周りの子たちと違うかもと思悩むのは、中学校や高校の時期が多いです。そんな時期にスクールカウンセラーにそのことを相談できればと思います。スクールカウンセラーとしてどのような知識を持っておくといいのか、どんな支援ができるのかについてお話しさせていただきます。

4回目 8月11日 岡留美子先生

ケアの重要性がこれほど注目されるようになった時代は、他にあったでしょうか。医療でも「キュアからケアへ」という標語が厚労省から提起される時代です。ケアは誰もが受け手であり、かつ提供者でもあります。子どもたちは特に多くのケアを必要とします。可視化しにくいケアもありますが、子どもたちがどこでも（家庭、地域、学校、それ以外の居場所も含めて）十分なケアを受けられる社会になることを願っています。精神科開業医の診察室から見えるケアの現在について皆さんと共有したいと思います。

5回目 9月8日 松本俊彦先生

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 部長
近年、精神科医療の現場では、十代の市販薬乱用患者が顕著に増加している。市販薬乱用は、女性に多く、自傷や摂食障害を併発している傾向がある。乱用の動機は、決して「ハイになる」ためではなく、つらい気持ちを身近な大人に相談せずに、ドラッグストアで自分の小遣いで簡単に購入できる市販薬を過剰摂取して紛らわすことにある。今回の講義では、思春期の市販薬乱用・依存の臨床的特徴を概説するとともに、治療・支援にあたってのポイントを概説したい。

後期 担当講師の自己紹介文

6回目 10月13日 戸田有一先生

私は、ピア・サポートやスマホサミットなど、いじめ予防の実践を支援してきました。その支援において、臨床心理学を専門とする方々と共同するなかで培った「これはまずい」という直感がはたらく場面がありました。そのような場面を演習課題として、スクールカウンセラーの方々に、いじめ予防実践の支援としてお願いしたいことをお伝えしたいと思います。

7回目 11月10日 植山起佐子先生

母子分離ができない児童生徒と母子同席面接をする中で、親子の自己理解や相互理解が深まっていった例や担任に同席してもらうことで子どもが主体的にクラスでの居やすい環境について語る事ができた例など、同席面接や合同面接の効果を実感することが多々あります。子どもの話と保護者の話、保護者の話と教員の話...一方の話だけではわからないことが「同席面接」や「合同面接」にするとわかってくることもあります。対立や回避の「負の循環」を相互理解の「正の循環」へと転換するために意識的に合同面接を実施してみることを考えてみたいと思います。

8回目 12月8日 新井肇先生

高校教員として30年間勤務した後、大学教員として、カウンセリング心理学を基盤とした生徒指導実践の理論化、学校内外の連携による協働的生徒指導体制の構築、教師のストレスとメンタルサポートに関する研究に従事してきました。今回、深刻化する教職員のメンタルヘルス支援の方向性と課題をテーマとしてとりあげ、教職員は「なぜ疲弊するのか」、燃え尽きる前に「支え合う職場づくりをどう進めるのか」、そこで求められる「スクールカウンセラーの役割とは何か」、ということについて皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

9回目 2023年1月19日 徳田仁子先生

2023年度は「家庭と学校をつなぐ工夫」について保護者面接や教師コンサルテーションがテーマでしたが今年度は思春期のレジリエンスを支える要点についてお話ししたいと思います。

10回目 2023年2月9日 松本俊彦先生

自分がかかわっている生徒から、「死にたい」と言われたどう対応したらよいか、自殺のリスクアセスメントでは何に注目し、リスクマネジメントの原則は何なのか、について一緒に考えてみたいと思います。

なら思春期・不登校支援研究所 とは…

本研究所は、子どもたちを支える保護者や、教員・スクールカウンセラーなどの専門職をサポートするための研修の機会を提供します。職種や立場をこえて、みんなで学び支援の輪を広げていくための、拠点の一つとなれることを目指しています。

アドバイザー：伊藤美奈子・粕谷貴志・栗本美百合・阪中順子 相馬誠一・竹下三隆・良原恵子（五十音順）